

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭 家庭基礎	普通科 1年	2	家庭基礎（第一学習社） ともに生きる・持続可能な未来をつくる	最新生活ハンドブック（第一学習社）
科目の概要 と目標	家族や生活の営みを人の人一生とかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費者生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とする。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	「家庭基礎」の学習について		・学習の意義や内容・方法・評価について理解する。	
	(1) 食べる 食生活の自立と健康・安全	・栄養と食事 ・食品と調理(調理実験実習を授業全体の1/2時間実施)	・食べることの役割を認識し、青年期と各ライフステージの栄養的特徴について理解する。 ・食品の栄養的特質と調理上の性質について理解し、目的を明確にした調理実習を通して調理技術を習得する	
	(2) これからの生き方と家族 (3) 共生社会と福祉	・これからの自分の人生 ・青年期の自立 ・人生の課題と意思決定 ・家族・家庭と社会的支援 ・共生とコミュニティ	・生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解する。 ・生涯を見通した中で、生活課題に対応した意志決定をして、青年期の具体的な生き方を考える。	
	ホームプロジェクト計画		・夏休みを利用して、各自家庭の中での問題点や課題をみつけ、テーマを決める。	
2	ホームプロジェクト発表		・夏休み中に実践したことを発表する。	
	(4) 装う 衣生活の自立と管理・計画	・被服実習 (トートバック製作) ・人の一生と被服 ・被服材料と管理	・簡単な手縫いやボタン付け、ミシンの基礎縫いができる。 ・社会的習慣への適応などの社会的機能を理解し、被服材料の性能や被服の構成とのかかわりが、深いことを理解できる。 ・被服の入手、洗濯、保管など、衣生活を自ら管理する知識と技術を習得する。	
	(5) 住まう 住生活の自立と健康・安全	・ライフステージと住まい ・快適で安全な住まい ・住まいの環境	・生涯発達の視点で、家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択ができる。 ・安全で健康かつ快適な住居や耐久性の高い住居を選択するために、必要な住居の機能について理解する。 ・地域コミュニティと共生できる住居の在り方などについて考える。	
	(6) 経済生活を営む	・生活に必要な費用と管理 ・将来を見通した経済計画	・生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりについて理解する。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考える。	
3	(7) 次世代をはぐくむ	・子どもとかかわる ・子どもの育つ環境	・子どもの心身の発達と生活、親の役割と保育について理解できる。 ・子どもの育つ環境について理解し、現状の課題について考える。	
	(8) 充実した生涯へ	・高齢期との生活と課題 ・高齢者とかかわる (学校家庭クラブ活動) ・高齢社会を生きる	・高齢期の身体的および心理的特徴について理解し、現状の課題について考える。 ・身近な高齢者から生きがい、社会参加などを、聞き取ったりするなどの活動を通して具体的に考える。 ・超高齢社を迎えている現状と課題について理解する。	
	(9) 経済生活を営む	・社会の変化と消費者問題 ・消費者の権利と責任	・消費者問題発生の社会的背景について考え、消費者保護に関する施策について理解する。	
	(10) ライフスタイルと環境	・消費生活と環境とのかかわり	・家庭の機能が変化していることを理解し、これからの家庭生活や家族のあり方について考える。	
	(11) 生活をデザインしよう	・これからの自分の一生を考える。	・生活時間や進路選択など、高校生期の課題について検討し、将来への目標を考える。	

備考 1クラス2班編制で授業を行い、1学期と2学期で分野を交替する。

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭 家庭総合	工業科 2 年 商業科 2 年	2	家庭総合 (第一学習社) ともに生きる・持続可能な未来をつくる	最新 生活ハンドブック (第一学習社)
科目の概要 と目標	人生を見通し共に生きる、生活を営む、生活を創るというテーマで学習をする。その中で、生活の営みを人の一生とかかわらせて総合的にとらえることや、基礎的な知識や技術を習得し、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度や、自立した生活者として実践的な態度を養うことを目標とする。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	「家庭総合」の学習について	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容・方法・評価について理解する。 	
	6章 食べる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と食物のかかわり ・食品と栄養のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食生活をデザインする (調理実験実習を授業全体の1/2時間実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって食べることの意味を理解し、自分と家族の食生活を見直して課題を明らかにできる。 ・健康と食生活の関係について知識を整理し、栄養素とそれらを含む食品について理解できる。 ・栄養所要量や食品群別摂取量の目安を通して、自分や家族の栄養や健康について理解する。 ・食品の管理と衛生的な取り扱いについて理解し、食生活の安全性について考えることができる。 ・調理実習を通して基本的な調理技術を習得し、献立の大切さを理解できる。 	
	ホームプロジェクト計画		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みを利用して、各自家庭の中で問題点や課題をみつけ、テーマを決める。 	
2	ホームプロジェクト発表		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中に実践したことを発表する。 	
	7章 装う	<ul style="list-style-type: none"> ・被服実習 (基礎縫いの練習とトートバック製作) ・人と衣服のかかわり ・衣服は何からできているのか ・よりよい衣生活を創造する 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な手縫いやボタン付け、ミシンの基礎縫いができる。 ・トートバックを製作し、1枚の布から作品を仕上げていく過程を理解する。・人間と被服のかかわりについて考え、被服の機能を理解できる。 ・被服の素材である繊維と繊維製品についてその性能や加工、管理の方法を理解できる。 ・快適で合理的な衣生活のために資源や環境に配慮した衣服の入手から処分までを計画的に管理できるようにする。 	
	6章 食べる	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの食生活を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の多様化や食環境の変化を通して、健康で安全な食生活の管理ができるようにする。 	
3	8章 住まう	<ul style="list-style-type: none"> ・人と住まいのかかわり ・快適な住まいづくり ・健康で安全な住まい環境 ・よりよい住生活を創造するために ・消費者問題を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活の場である住まいについて、ライフスタイルやライフステージによる住まい方の違いを理解できる。 ・住まいの広さや間取り、衛生的な室内環境 住まいの安全について理解できる。 ・すべての人にとって快適で安全に暮らせる住環境が大切であることを理解する。 ・経済社会と家計の関わりについて理解する。 ・消費者被害を回避できる知識と選択力を身につける。 	
	5章 経済生活を営む			

備考 1 クラス 2 班編制で授業を行い、1 学期と 2 学期で分野を交替する。

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭 家庭総合	工業科3年 商業科3年	2	家庭総合 (第一学習社) ともに生きる・持続可能な未来をつくる	最新 生活ハンドブック (第一学習社)
科目の概要 と目標	人の一生の発達を見通し、自分らしく生きる、人とかかわって生きる、生活をつくるというテーマで学習をする。その中で、生活の営みを人の一生とかかわらせて総合的にとらえし、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度や、自立した生活者として実践的な態度を養うことを目標とする。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	2章 次世代をはぐくむ	青年期を生きる 子どもの世界 子どもの発達と生活 〈保育所見学〉 親と社会の役割と保育 子育て支援と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の特徴と課題について理解できる。 ・自分の成長を振り返り、子ども独特の世界観を知る。 ・乳幼児の心身の発達の特徴と遊びの意義を理解できる。 ・保育所見学を通して、子どもと適切にかかわることができる。(学校家庭クラブ) ・人間の成長・発達に欠かせない家庭や社 <ul style="list-style-type: none"> ・変化する子どもの環境を理解し、子育て支援の必要性や福祉サービスについて調べる。環境について考えることができる。 	
2	3章 充実した生涯へ 4章 ともに生きる	高齢期を生きる 高齢社会の現状と課題 高齢者の自立支援と福祉 人間の尊厳と介護 支えあうしくみと福祉への参加 〈デイサービスセンター見学〉 現代家族の特徴 これからの家族・家庭 社会保障制度と社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の生きがいと就労・社会参加について現状を知り理解する。 ・加齢に伴う心身の変化と特徴を理解する。 ・社会福祉の現状と課題を検討する。 ・高齢者介護の心構えやコミュニケーションの重要性を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービスについて理解できる。 ・地域における福祉システムについて調査し検討する。(学校家庭クラブ) <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・家族について考え、これからの自分の家族像について考えることができる。 ・日本の社会保障制度が社会保険と社会福祉から成り立っていることを知り、その内容を理解する。 	
3	5章 経済生活を営む 1章 これからの生き方と家族	将来のために経済計画 ・私たちの暮らしと経済 ・消費生活と環境問題 家庭・家族と社会のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に自立するための家計管理や長期的な生活設計の重要性を理解できる。 ・便利な暮らしと環境問題の関係を理解し、自分のライフスタイルを見直す。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について理解し、現代の家族・家庭がどのような問題を抱えているか理解する。 ・家族に関する法律を理解する。 ・家族が生活していくためにはどのくらいお金が必要か知り、管理できるようにする。 ・生活設計を立案し、自分自身の生き方を考える。 	